

令和 7 年度第 2 回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時

令和 7 年（2025 年）7 月 29 日（火）14 時 30 分～16 時 15 分

2 開催場所

広島市役所本庁舎 1 4 階第 7 会議室

3 出席者

出席委員（8 名）

田中 貴宏、角倉 英明、今川 朱美、高田 由美、吉田 幸弘、中村 圭、
竹田 宣典、塚本 梓織

4 議事

- (1) 西平和大橋歩道橋整備事業について（2 回目会議）
- (2) 安芸消防署新築工事について（報告）

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者 1 名

報道関係傍聴者 0 社

7 会議資料

会議次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、議事資料

8 会議要旨

(1) 議事 1 西平和大橋歩道橋整備事業について（2 回目会議）

1 回目の会議での委員からの意見等を踏まえた設計内容について説明を行い、デザイン上の配慮事項に関する提案を受けた。今後の検討事項は次のとおりである。

ア 欄干ビームの台座について

- ・平和大橋との統一性や、利用者の安全性を考慮して、緑地のほうが良い。
- ・ビームのカーブに沿った形とするのか、親柱にかからないところで切る形とするのか、西平和大橋の親柱及びビームに合った形を検討してほしい。

イ 点字ブロックについて

イサム・ノグチ氏の欄干のデザインに配慮して、形や色を検討してほしい。

ウ 橋名板について

橋名板の配置や素材、デザインをどうするか、検討してほしい。

エ 照明について

- ・照度は 5 ルクスで安全上支障ないのか、他の橋の照明も調査して検討してほしい。
- ・美しく川面に映るということも含めて、色味や照度を調整する機能を加えるなど、側面からの見え方を考えた照明計画としてほしい。

オ 下部工について

平和大橋と対であるということも含め、イサム・ノグチ氏の欄干と調和するよう橋桁の色を検討してほしい。

(2) 議事 2 安芸消防署新築工事について（報告）

これまでの検討での委員からの意見等を踏まえた最終的な設計内容について報告を行った。

今後の管理など、引き続き注意してほしい事項については次のとおりである。

ア プロムナードについて

一様の空間ではなく、歩いて楽しいと思えるような道になるよう、工夫してほしい。

イ 平面計画について

面談室の入り口の向きや女子トイレ周りの使い方に配慮してほしい。

【会議概要】

○地井都市デザイン担当課長

（開会挨拶、配布資料確認、出席者紹介及び議事説明）

○田中座長

それでは、本日の議事(1)「西平和大橋歩道橋整備事業について（2回目会議）」の説明をお願いします。

○河本道路計画課課長補佐

（議事(1)「西平和大橋歩道橋整備事業について（2回目会議）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○中村委員

欄干のビームが地面に潜り込むところの処理について、高さがなくなった分だけ自然に見えて、ビームの特徴がよく生かされるようになっていないのかなと感じた。

一方で、前回提示された案では、芝生があり、その芝生がカーブを描くような形で、欄干の端の一番付け根のところから始まっているが、対応案では、もう少し内側のところから始まっている。施工上は、それほど大きな変更ではないような気がするが、ビームの形と沿ってつくられるカーブなので、特徴的なこのビームのカーブの印象にすごく影響があるかなと思った。

また、芝生から舗装に変わっているが、土っぽい感じの硬い塗装で凸凹した感じなので、今の状況は、草があって、草の地面から直接ビームが生えているというか、あるいは潜っているように見えるものが、それが土というのが良いのかどうか少し気になる。平和大橋のところは草であるため、そこは、平和大橋と対になって、揃っていたほうがやはりいいのかなと思う。

あと、西平和大橋歩道橋鳥瞰図において、上流側と下流側でビームの潜り込むところの処理の仕方が少し違うので、揃っていたほうがいいのかなと思った。

○河本道路計画課課長補佐

まず、欄干を保護している部分（台座）の始まりが少し変わっていることについて、点字ブロックのすぐそばになってしまうと、視覚障害者の方がつまづく可能性があるので、少し控えた位置にしている。ただ、御意見いただいたここについても、少し欄干のビームに沿った形というか、ある種モニュメントみたいなものなので、それを均等に囲えるような工夫の考えようはあるかなと思う。

土系の舗装については、これはアスファルト舗装ではなく、土に接着剤のようなものを混ぜて水で固める真砂土と言われるものになる予定だが、おっしゃるとおり、平和大橋歩道橋との統一性というところもあると思うので、今後の参考にさせていただきたい。

○今川委員

点字ブロックは絶対必要なのか。西平和大橋の欄干ビーム端部の状況という写真を見る限り、周辺に点字ブロックはなく、この黄色いラインがまわりついているような感じはしない。

○河本道路計画課課長補佐

参考資料の4ページで、②と③の写真に両方とも点字ブロックがある。ただ、輝度比があまりないので、今川先生がおっしゃるとおり、あるかないか少し分からないように見えるが、実際には今点字ブロックが設置してあり、視覚障害者の方も多く通られるので、そこは復旧したいと思っている。

○今川委員

平和大橋の欄干ビーム端部の状況という写真では、点字ブロックが目立たない。写真を撮りに来られる方が非常に多いスポットだと思うので、私だったら、写真にこの黄色い線が沢山入るのはあまり喜ばしくない。呉の駅前広場などは、点字ブロックが敷いてある素材と同じ色で、薄肌色にしている。観光地であり、広島顔にもなるものなので、せめてこのイサム・ノグチの欄干の周辺だけでも、同色の点字ブロックにできないか。

○河本道路計画課課長補佐

現況が統一性を持たせた色になっているというのは存じ上げているので、できるだけ景観というか、デザインには配慮したいという思いもある。一方で、点字ブロックが黄色で、その周りの舗装は白というふうになると、どこに点字ブロックがあるのか、目の不自由な方は見えないとお困りのことがよくあるので、点字ブロックに縁取りをしている状況である。いただいた御意見については、例えば、黄色以外にも、景観と調和が取れるような色の点字ブロックがないかなど、調査して研究したいと思う。

○中村委員

色も気になるが、点字ブロックがいつも直線で、四角形のものを組み合わせて造っているので、どうしてもカーブの形と折れ曲がった直線的な線の対比が非常に強烈に印象づく。ちなみに、このカーブ状の点字ブロックは、やはり視覚障害のある方にとっては少し危険が伴うとか、そもそもそういう商品がないとか、見たことはないなとは思いますが、そういうのは何かあるものなのか。

○河本道路計画課課長補佐

点字ブロックの設置基準も確認して、おっしゃっていただいた、基本的には欄干のデザインと調和が取れるような、一番良いのは、アールをかける曲線形に誘導できるような点字ブロックの設置の仕方がないかなどを調べて、反映できればしていきたいと思う。

○吉田委員

橋名板について、平和大橋のほうは、円錐状のものをぱっと切ったもので、現状の西平和大橋のほうは、台形を少し切った石だと思う。これが親柱のすぐ近くに設置されると思うが、詳細な位置などがまだ反映されてないと思うので、どうするのか。それと、この橋名板自身の由来は、これはイサム・ノグチがデザインしたものではなく、その後に設置されたものか。

○河本道路計画課課長補佐

橋名板は、デザイン、設計されたものとは別でつけられたと認識している。

○吉田委員

橋の名称の方式みたいなもので、おそらく漢字と平仮名をそれぞれ反対側に、上流側と下流側で竣工の年月日など、法則があると思う。それに則ると、4か所全てにこの橋名板がつくと思うが、その場合の素材も含めた位置について、橋名板自身は、もし由来があるものだとすると、移設するということなのか、それとも、そういう由来がないのであれば、この歩道の設置に併せて少しアレンジは可能なのか、調べてほしい。

それから、台座について、平和大橋と対ということで、もし平和大橋の台座の造り方と揃えるのであれば、平和大橋のほうは、親柱のビームはこの台座の中に入っているが、親柱の支えは浮いている状況なので比べ難いが、もしかしたら、親柱にかからないところで切るのも一つの造形としての解決方法なのかなと思った。

橋桁の色については、おそらく十数年前に塗り替えていると思うが、今後、対という考え方であれば、色を揃えとか、橋桁の色等でも対の表現というのは可能になると思う。

もう一点、照明だが、歩道の照明は非常にいろいろ考えていただいていると思うが、車道の照明は何色なのか。橋の上には、たしか車道の照明はないと思うが、それでも、車道のほうは照度を保っているのか。

○河本道路計画課課長補佐

現在、車道のほうに道路照明灯はないが、現地を見ると、橋の両端部の高いところから欄干に当てている照明があるため、ある程度、照度は確保できていると思われる。

○吉田委員

橋の中央部でも規定の照度は保っているということか。今後、橋床に照明柱が立つようなことはないのか。

○河本道路計画課課長補佐

橋の上に道路照明を立てるということは考えていない。

○吉田委員

平和大通り全体の照明を考えると、車道の照明の色も含めた検討が必要ではないかと思う。車道のほうは、おそらく昼白色に近いような色なのではないか。

○河本道路計画課課長補佐

一般的に使われている道路照明灯は、LED化に合わせて白いものが増えてきている。平和大通り全体の夜間景観を考えていく中で、そういったところも崩さないように統一性を持たせていければと思う。

○竹田委員

照度が10.8ルクスから5ルクスと半分になるが、歩行者の安全性は大丈夫なのか。

○河本道路計画課課長補佐

道路照明の基準では、5ルクス以上ということになっており、今、平和大通りの沿路に一部5ルクスで照明を造っているところもあるが、特段支障はないと見ている。

○竹田委員

この橋下は川であるため、安全上については、危険なところの部類になると思う。普通の歩道とは違うことで、足元でつまずくなど、そういう心配もあるのではないかなと思うが、最低限の5ルクスでいいのか。他の橋、様々な県の橋なども調べた結果なのか。

○河本道路計画課課長補佐

転落を防止するために、歩道橋の欄干は高さ1.1メートルで、人の重心よりも高い位置に手すりをつけているので、転落のおそれは少なくなるのかなとは思いますが、照明については、他の事例も調査してみる。

○高田委員

車道のほうは何もせず今の照明のままということだが、この橋をきれいに美しく見せるための照明は、今考えていないのか。川に橋がきれいに映るといいかなと思った。内側は割と明るく照らされているが、側面から見たときの形を照らしたほうがいいのかと思った。

ビームのところについて、土か草なのかという話があったが、段差がなくなったのはすごく自然な感じでいいなと思っているが、このビームが飛び出ているのが、自転車や歩行者にとって少し危ないと思うので、草などで色を変えるというのもありなのかなと思った。

○河本道路計画課課長補佐

西平和大橋の本橋、車道側のほうを照らすようなことを今考えられないかということだが、今、車道側のほうは、下流側の橋から少し離れたところから、結構強い光で欄干を照らしている。今回整備する歩道橋については、ライン照明という形で、平和大橋歩道橋と同様に、下からアップで照らし上げるようなもので、下流も上流もデザイン性のある欄干を強調させるような光を考えている。

欄干が少し飛び出た感じで危ないのではないかという御意見については、歩行者、自転車が通過する安全性を考慮して、平和大橋と同様に、歩行者の視線や動線を誘導するようなことを今後の実施設計で改めて検討していきたいと思っている。

○高田委員

今の照明で、欄干は水面に美しく映っているのか。

○河本道路計画課課長補佐

欄干を照らすことによって、反射した水面に欄干は映ると思う。

○高田委員

平和大橋も映っているのか。

○河本道路計画課課長補佐

平和大橋のほうも同じような照らし方をして映っている。美しいかどうかは、主観が入るので皆さんいろいろあると思うが、今回この歩道橋を造るに当たって、歩道橋の欄干部分はシースルーな形にして、奥に見える本当にデザイン性のある本橋、車道橋の欄干を目立たせるような工夫を予定している。

○竹田委員

検討の結果、下部工のデザインについては、特段の配慮をしないということだが、景観というと上部工だけに目が行くが、全体として見ると、やはり下部工も考慮の余地があると思う。有名なのは新潟の萬代橋などで、ダムも最近はのっぺりしたコンクリートではないようにしている傾向にある。統一性を考えて同じようにするということだが、護岸の石積みと調和させるならば、コンクリートに化粧型枠ですぐできるが、どうか。

○河本道路計画課課長補佐

事前に西平和大橋、平和大橋を調べるとともに、そもそもの上部工、欄干を目立たせるというところのコンセプトに着目したときに、他の化粧型枠をしている橋も広島市内に多数あることを調べている。画面のほうを御覧いただければと思うが、鶴見橋や御幸橋など、結構いろんなところで化粧型枠は使われている。これも主観が入ってしまうので何とも言えないが、下部工にアクセントを持たせてしまうと、下部工が結構強く見えてしまって、上部工のデザイン性が少し薄れるのではないかと、検討の中で内部の意見としてあった。

○竹田委員

ポイントをどちらに置くかということなので、上部工を中心という方針であれば、その方向で行くのもいいかと思うが、バランスの問題がある。

○河本道路計画課課長補佐

己斐橋も上部工はのっぺりした形で、下部工がすごくヨーロッパのお城のような感じの表面であるため、結構下部工が目立ちぎみになっており、そういったところも踏まえて、あくまで今回は上部工を強調するというデザインに着目して、一般的なコンクリートというふうにさせてもらった。

○角倉副座長

点字ブロックがどうしても気になり、こういうことをきっかけに、少し点字ブロック自体のことをデザインし直すって言うのであれば、路面との色の違いで、材料や色をどうするか、おそらく目の悪い方が判断されると思うが、最適なものを検討し直されたほうがいいと思う。かなりインパクトがあるので、これを和らげるというのは、この会議の対象ということと、この広島歴史的な背景から踏まえても、やはり配慮したほうがいいところではないかなと思っている。

全体の調整のされ方としては、大きく納得しているところだが、ビームの周辺について、形態も含めて、土色系の舗装ではなくて、草を生やすなど、もう少し工夫されることで、平和大橋の対になるようなものが統一されていくというほうが、大きい視点から見たときにとってもいいと思うので、配慮いただけたらと思う。

○塚本委員

高田委員と重なるが、川に映った橋がすごくきれいだなと思えたらよりいいなと思って、色味や照度も調整が可能であれば、そういう機能も加わったらより魅力的になるのかなと思った。

○今川委員

繰り返しになるが、目の不自由な方に配慮するのであれば、点字ブロックは決して黄色でないといけないということはないと思うので、白色と黒っぽい色というので分けてでも、ぜひ黄色は避けてもらえたらいいなと思う。結構黄色って見ると痛くて、特に、私たちは黒い目だが、青い目の人はまた見え方が違って感じ方も違うので、世界の方が見に来る橋という認識の下、ぜひ検討してほしい。

橋桁の色について、なぜ緑なのか。平和公園の周辺の橋は緑にするというルールがあるのか。

○河本道路計画課課長補佐

現在、西平和大橋の桁が緑色になっているというのものもある。

○今川委員

広島市の道路景観づくりの手引で、路線色や地域色が決められていて、私の個人的な意見になるが、結構緑に目が行くので、無彩色に近いほうが欄干の美しさが引き立つと思う。

○吉田委員

橋桁の色は、おそらく広島市の指定の三色の外にあると思っている。照明柱などは、道路工事のたびに頻繁に塗り替えるが、橋の場合は一回塗ると、おそらく2、30年はそのままの色である。約20年前に広島市の川の橋の色の研究をしたことがあって、全部調べたら本当にいろんな色があった。錆が出てから塗り替えるので、理想に近づけるまでにはおそらく100年、200年かかるだろうと思うが、言われるように、ここは一番重要なところであり、対になっている橋ということで、橋の色は早めに明確な方針みたいなものを設定してもいいのかなとは思っている。ただ、それを全市に広げるかというのは、非常に時間がかかることなので、これは無理だなと思った。

あと、橋によっては地域色があって、住吉橋は赤い。なので、市がそういう方針を決めたところで、なかなか地域住民の方への説明のときに、景観だけの話ではないところもあるので、それで苦労したことは過去にある。

○今川委員

住吉橋の赤は、私的にはいいかなと思う。新己斐橋は、ピンクではないか。

○吉田委員

新己斐橋はあかね色だった。そのときに、上流、下流の軸と道路の軸でグラデーション的なまちづくりみたいな考え方で、その位置にある橋は、それに近づけようとしたという経緯はある。

○河本道路計画課課長補佐

平和大橋歩道橋についても、桁の色は緑色というところがあるので、都市デザイン担当の部署とも相談しながら、この平和大橋と西平和大橋が対であるということも含めて、色は考えようと思う。

○今川委員

照明を電球色にするというのはいいと思うが、今後、平和記念公園やその周辺は、全て温かみのある電球色にしていこうという方針なのか。

夜、平和記念資料館に行くと、真っ白に光って、西平和大橋に行くと、暖色系になるので、統一されてないと、ぱっと気持ちが高ぶって、穏やかになるというように、感情の起伏をコントロールされるようで、少し嫌な感じがする。落ち着いた穏やかな気持ちになってもらおうということで電球色を選ぶのであれば、その周辺も連続的に整備できないのか。

いつもそこだけ良くしようというような感じで、何年間かこの会議でいろんなものを見せてもらったが、ここはこうする、ここはこうするで、その前に決まったことは継承されず、その隣にあるもののことも広域的に考えられていないことが非常に残念である。

特に、海外からの観光客が増えてきて、連続的に観光されるのに、同じ広島市の中で統一されていないということは非常にイメージが悪いと思っている。なので、西平和大橋が良くなるのはとても望ましいことだが、横のライトアップや祈りの空間が夜そんなに明るくていいのか、噴水は光らせる必要があるのかなど、そういうことも含めて、道路だけの問題ではないと思うが、統一的に平和プレイスのデザインを考えてもらえたらいいなと強く思う。

○地井都市デザイン担当課長

広島市の夜間景観についてどうあるべきか、どういった色を使っていくのかということも含めて、今後検討を開始しようと思っている。今年度中には景観審議会に諮問し検討に本格的に入っていきたいと思っているので、場所ごとでばらばらにならないよう、統一感を持った対応でやっていきたいと思っている。

○今川委員

C Gに平和の道というプレートが入っていないが、剥がしたものをもう一度つけてくれるのか。

○河本道路計画課課長補佐

平和の道については、掲示する。

○田中座長

それでは、皆様から御意見をいただけたと思うので、まとめをさせていただきます。

一つ目は、欄干ビームの台座のところについて。全体的な意見としては、緑のほうがいいのではないかということだったかと思う。それにはいくつか理由があり、統一性の話や安全性から見たときの視認性の話からも、緑の方が良いというのは、大きな方向性の意見としてあったと思う。それに併せて、形状をどうするかということも含めて御意見があったかと思うので、検討いただけると良いと思った。

二つ目は、点字ブロックについて。形や色をどうするかという話や、そもそも新しい形にデザインし直すというようなこともあり得るのではないかと御意見があった。

三つ目は、橋名板について。橋名板の配置がこの橋のデザイン全体を考えても大事ではないかということで、今後、橋名板の配置やデザインをどうするかという点も注視して検討していただけると良いという話があった。

四つ目は、照明について。5ルクスで大丈夫なのかという話や、総じて美しく見えるということを考えたときに、どういう照明がいいのか、川面に映る様子も含めて、見え方を考えた照明計画になると良いという話があった。また、これは今回の話の中に収まる話ではないとも思うが、周りも含めた全体的な照明計画をやはり考えるべきではないかというような話もあった。その辺りについては、都市デザイン担当のほうで検討いただけるということだったと思う。

五つ目は、橋の下部工について。橋桁の色や下部構造をどうするかなど、その辺りについて少し御意見をいただけた。

議事(1)については以上である。

○田中座長

それでは、本日の議事(2)「安芸消防署新築工事について（報告）」の説明をお願いします。

○井上施設整備担当課長及び設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 中川氏）

（議事(2)「安芸消防署新築工事について（報告）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○中村委員

3 ページのパースによると、プロムナード入口はインターロッキングで、手すりがある。プロムナードは南北にジグザグに、直線部分もかなりあるが、ここは同じような感じですっとインターロッキングが続いているのか。手すりは途中までなのかなという気がしたが、手すりもずっとあるのか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 中川氏）

プロムナードの部分はずっとインターロッキングが続いているが、手すりは途中までである。

○中村委員

北が上なので、午前中歩くと、かなりずっと日が当たっている状態の道になり、午後は、左側に建物があるので、建物の陰が挟まるのかなと思う。すごく細長いプロムナードが結構特徴的だなと思う。インターロッキングは同色の一本道にするのか、少しスロープ状にもなっているようなので、途中でパターンを変えるのか、いろんな方が通られるので、歩くのが楽しい道になるといいなと思った。模様のつけ方など、何か検討しているのか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

インターロッキングブロックを一色で張るのではなく、例えば白、黒、グレー、あともう一色ぐらい同一系統の色でまばらに張るので、色彩的には楽しい状態になると思う。中村先生がおっしゃるとおり、一色で張ると、ずっと同じように続くようになると思うので、そういったことは避けたいと思う。

○吉田委員

北側立面図の3階部分のガルバリウムについて、これはリズムがあって、参考写真を見ると、非常にイメージがつかみやすくなった。

6 ページのパースは、南側になると思うが、そこのガルバリウムは、北側と同じようなリズムは採用しないということか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 中川氏）

南側のガルバリウムは、パース上は凸凹を表現できなかったが、実際には北側と同じようなリズム感のある外壁にしようと思って計画している。

○吉田委員

その場合、北側では、間に二本の筋が水平に入っているが、南側も同じ仕様になるのか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 中川氏）

同じ仕様である。

○吉田委員

サッシの色は黒にするということだが、ルーバーは木目調なので、そういう選択肢も検討されたのか。このルーバーは木目調だが、金属ではないのか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

アルミの角パイプに、シートを張ったような形状になると思う。木材だと、耐用年数がないので、60年以上もたせないといけないという建物であるため、配慮している。

○吉田委員

サッシには、その張り物ができないという判断から、単純に黒にしたということか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

そういうわけではなく、デザイン上の問題である。それと、今おっしゃられたように、サッシを木目に張るというのはできないので諦めたが、方立ての内側は木を使っているの、木は表現できていると思う。

○吉田委員

それは本杣か。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

本杣である。広島県産材の杉を考えている。

○吉田委員

それはサッシの幅に合わせて張っているということか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

いいえ、本当の無垢の木である。見付が60センチメートル、奥行きが200センチメートルぐらいの木が方立ての後ろにずっとある。

○吉田委員

透明ガラスなので、内側のその木の部分も、外からちらっと見えるのか。外から見ると、真っ黒ではないということか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

そうである。己斐公民館を見てももらえれば、同じように使っているのがわかるが、ただ、サッシはシルバーである。

○今川委員

プロムナードと建物の間の手すりは途中までということだが、北側から入ってきた人は、消防署内を通る場合、この横断歩道を通してそのまま入っていくような感じか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

プロムナード北側入口から横断歩道までは、手すりはない。プロムナードが15センチメートルほど地面から上がっているの、それで区切っている。

○今川委員

それでは、北側からこのプロムナードを歩いてきた人が消防署に入ろうと思ったら、そのまま15センチメートルぐらい段を下りたら行けるのか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

そうである。

○角倉副座長

2階のプランニングの変更点について、電気室がなくなっているが、大丈夫なのか。

○設計業務委託者（株式会社 K 構造研究所 丸本氏）

電気室は不要であるため、違う部屋に変更して活用性があるように配置している。

○角倉副座長

面談室がその分できて、生活エリアのほうから入るプランニングになっているが、面談室の性格はもう少しオフィシャルなものだと思うので、入り口が逆ではないかなと思った。

○竹厚施設課長

面談の対象は職員であるため、入り口の向きはここで問題ないと考えている。また、将来的に待機室を増やさなくてはいけなくなったときの予備の部屋としても考えているので、位置関係、扉の向きというのは今、待機室のほうに向いている。

○角倉副座長

消防署のほうが良いければ問題ないが、プライベートな待機室側からアプローチする面談室というのがプランニング的には少し想像ができない。パブリックなものとプライベートなものがいきなり混ざり合う感じがするので、逆、若しくは両サイドから入れるようにしておくと、後々の待機室の計画と面談室の機能が両立できるのではないかなと思ったので、少し検討いただけたらと思う。

○高田委員

プロムナードと隣地の間の塀は、どんな素材でどのくらいの高さになったのか。隣の敷地がすごく丸見えなので、初めからその点がすごく気になっていた。

○竹厚施設課長

当初、隣地の方から音が不安だということで、遮音壁で考えていた。計画が具体化していく中で、また個別に隣地の方に一軒ずつ回って、どういったものがかいいか聞いたところ、高い塀は少し圧迫感があるということと、風通しと日当たりのほうがむしろ心配だという声をいただいたので、メッシュフェンスと目隠しフェンスを合わせたものとする。高さについても、圧迫感がないように、一般的な日本家屋の1階の窓の高さ1.8メートルぐらいのフェンスにしようと考えている。

○中村委員

2階の女子トイレが一つ目の待機室と壁を隔てて隣接していて、壁はしっかりしているとは思いますが、おそらく音が聞こえるのではないかなと思う。すごく気にされると思うので、もし取れるのであれば、間に予備室があるといいのかなと思った。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

待機室の壁は全て天井裏まで上げて、裏にグラスウールを入れて遮音壁仕様になっている。

○竹厚施設課長

待機室の使い方については、女性職員の配置数にもよるが、なるべくこの一番端から女性の待機室にしようと考えている。一番目を予備室というような扱いで、特に使う必要がなければ、ここは空けておくという運用も考えていきたいと思う。

○田中座長

それでは、皆様から御意見をいただけたと思うので、まとめをさせていただく。

一つ目は、プロムナードについて。歩いて楽しいと思えるような場所になるように、少しリズムがあり、一様の空間にならないほうが良いという話があった。

二つ目は、平面について。面談室の入り口の取り方や女子トイレの周りの使い方等、御意見があった。

それ以外は、確認であったかと思う。

議事(2)については以上である。